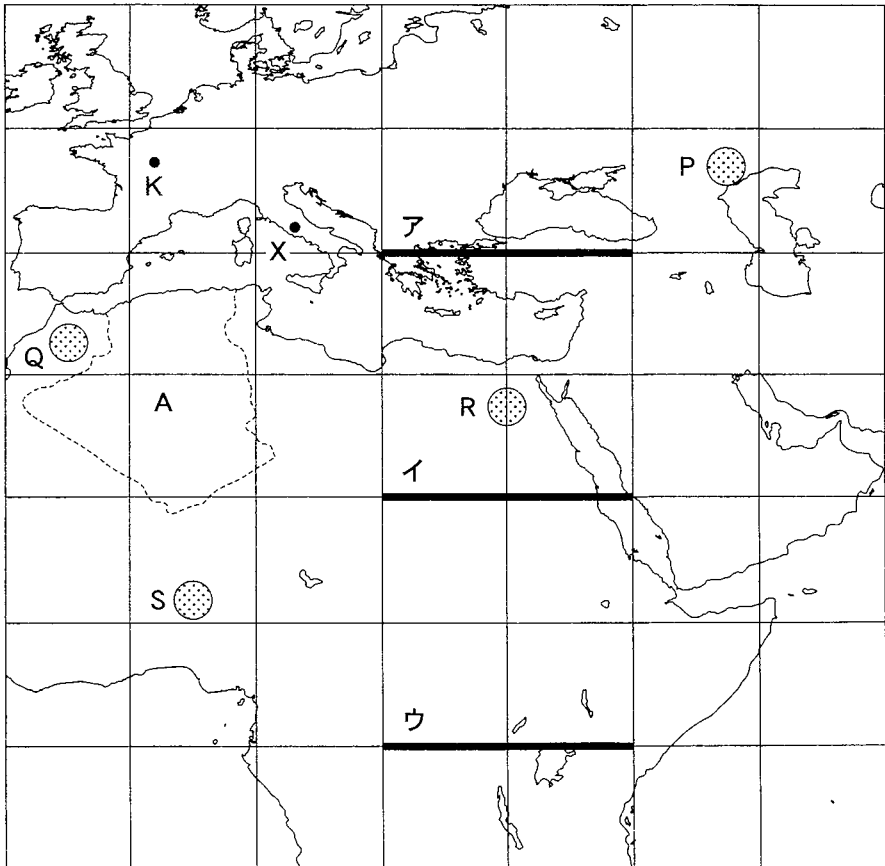


地 理 B

(解答番号 ～)

第 1 問 地理の基礎的事項に関する次の問い(問 1 ～ 5)に答えよ。(配点 10)

問 1 次の図 1 中に引かれたア～ウの太線のうち、地球上の距離が最長のものと、およその距離との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。



緯線・経線は 10° 間隔。正距円筒図法による。

図 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
距離が最長のもの	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
およその距離(km)	1, 100	2, 200	1, 100	2, 200	1, 100	2, 200

問 2 次の写真 1 は、図 1 中の A 国南部にある集落の景観を撮影したものである。

写真 1 から読み取れることを述べた文として最も適当なものを、下の①～④の

うちから一つ選べ。

2

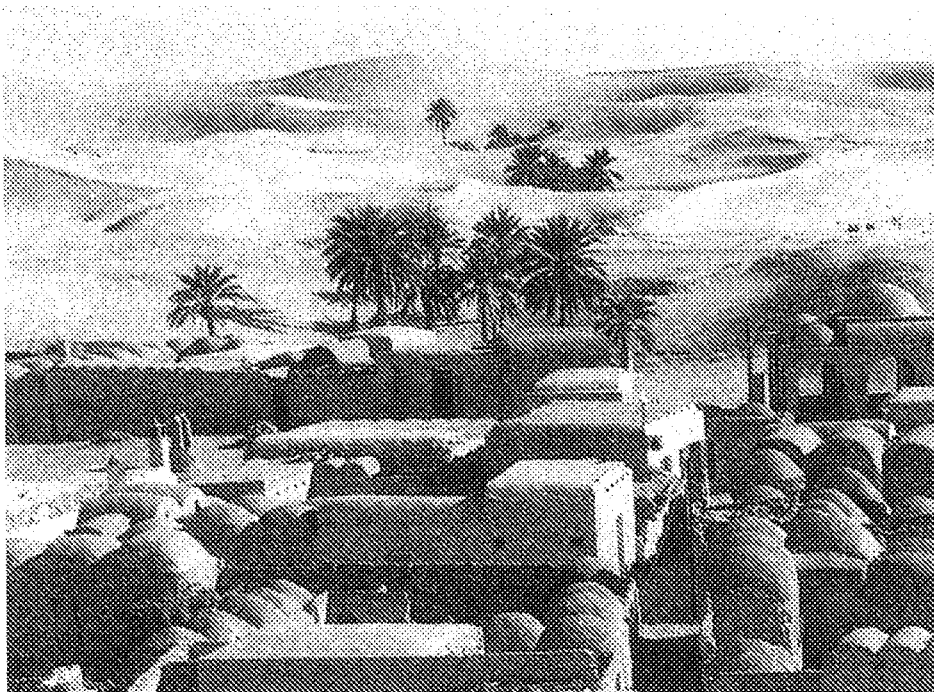


写真 1

- ① 家の窓は少なく、砂や強い日差しを避ける工夫がなされている。
- ② 集落のまわりにはゴムの木が植えられており、砂の侵入を防いでいる。
- ③ 家屋はレンガでつくられており、雨水をためる工夫がなされている。
- ④ 家の屋根は同一方向に傾斜しており、太陽光が効率的に利用されている。

地理 B

問 3 図 1 中の K の対蹠点^{たいせき}(地球の中心をはさんだ正反対の地点)に最も近い国を、次の①～④のうちから一つ選べ。 3

- | | |
|------------|----------|
| ① キューバ | ② スリランカ |
| ③ ニュージーランド | ④ マダガスカル |

問 4 図 1 中の P～S の地域のうち、最も標高の高い地点を含むものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- | | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| ① P | ② Q | ③ R | ④ S |
|-----|-----|-----|-----|

問 5 図 1 中の X 付近では、夏季は乾燥し、冬季は降水量が多くなる。このような気候的特徴がみられる地域として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 5

- | | |
|-----------------|------------------|
| ① オーストラリアの南西部沿岸 | ② 中国の北東部沿岸 |
| ③ トルコの南部沿岸 | ④ 南アフリカ共和国の南西部沿岸 |

地理B

第2問 リエさんは、函館山付近の地域を中心にして、函館市の自然や人間活動にかかわる調査を行った。次の図1は、この地域における1991年発行の5万分の1地形図(原寸、一部改変)である。この調査に関する下の問い(問1～6)に答えよ。
(配点 18)

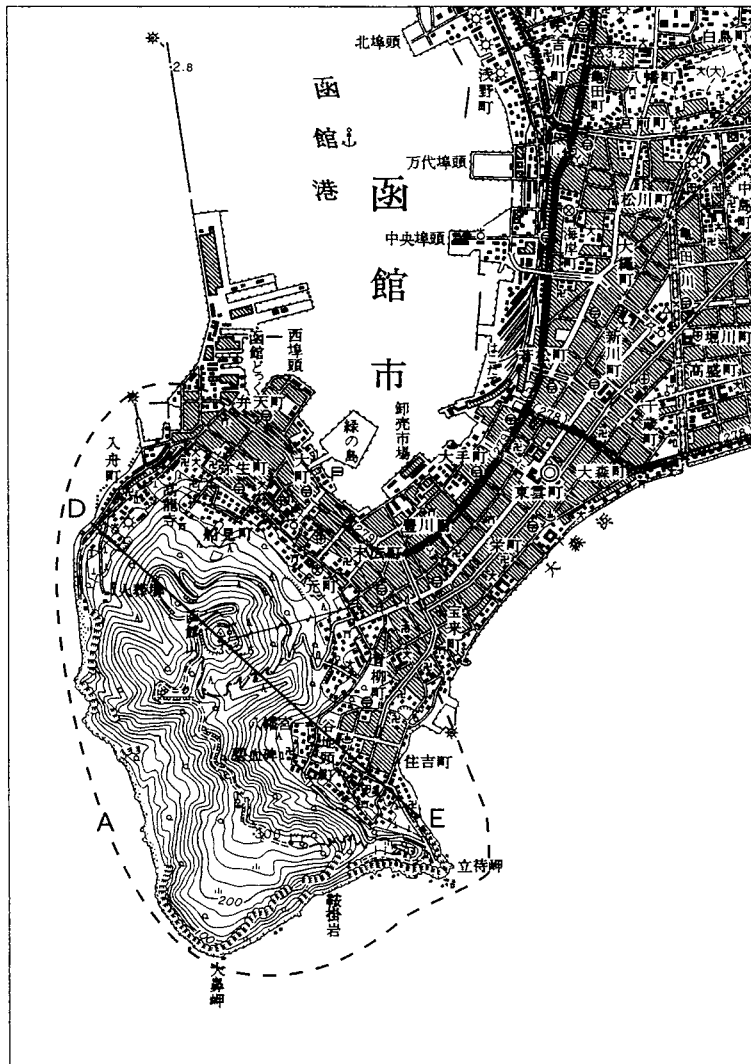


図 1

問 1 リエさんは、図 1 中の A の破線で囲まれた函館山付近が、特徴的な地形であることを知った。この函館山付近の地形の名称として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 6

- ① おぼれ谷 ② ^{さし}砂嘴 ③ ラグーン(^{せきこ}潟湖) ④ ^{りくけいとう}陸繋島

問 2 リエさんは、図 1 中の函館山の D—E 間の地形断面図を作成した。その地形断面図として最も適当なものを、次の図 2 中の①～④のうちから一つ選べ。ただし、水平距離に対して垂直距離は約 1.5 倍で表現してある。 7

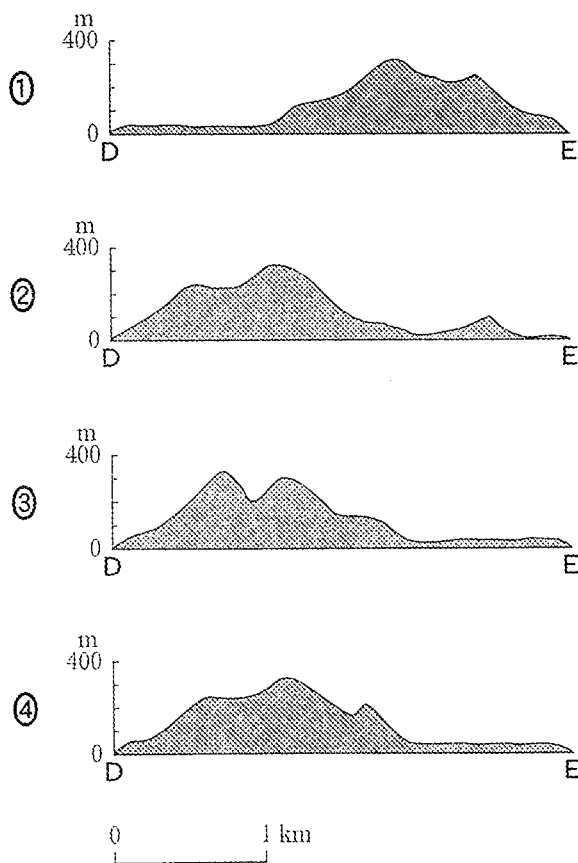


図 2

地理 B

問 3 リエさんは、図 1 を用いて地域の特徴を読み取ることにした。図 1 から読み取れることを述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

8

- ① 船舶の航行を安全にするために、港の入口に灯台が設置されている。
- ② 函館港側と大森浜側の海岸を比べると、函館港側に工場が多い。
- ③ 函館山の南岸には、急崖^{きゅうがい}をいかした天然の良港がある。
- ④ 函館山付近の市街地は、標高 100 m 以下にみられる。

問 4 リエさんは、1988 年の青函トンネルの開通と青函連絡船の廃止が観光客の利用する交通手段に与えた影響について調べた。次の表 1 は、函館市を訪れた観光客数の推移を交通手段別に示したものであり、P～R は、航空機、船舶、列車のいずれかである*。P～R と交通手段との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

9

*航空機については、函館空港を利用した観光客数。

表 1

(単位：千人)

	1981 年	1991 年	2001 年
P	1,059	461	257
自家用車	226	598	831
Q	189	630	861
R	738	1,775	1,196
バ ス	309	1,599	2,158

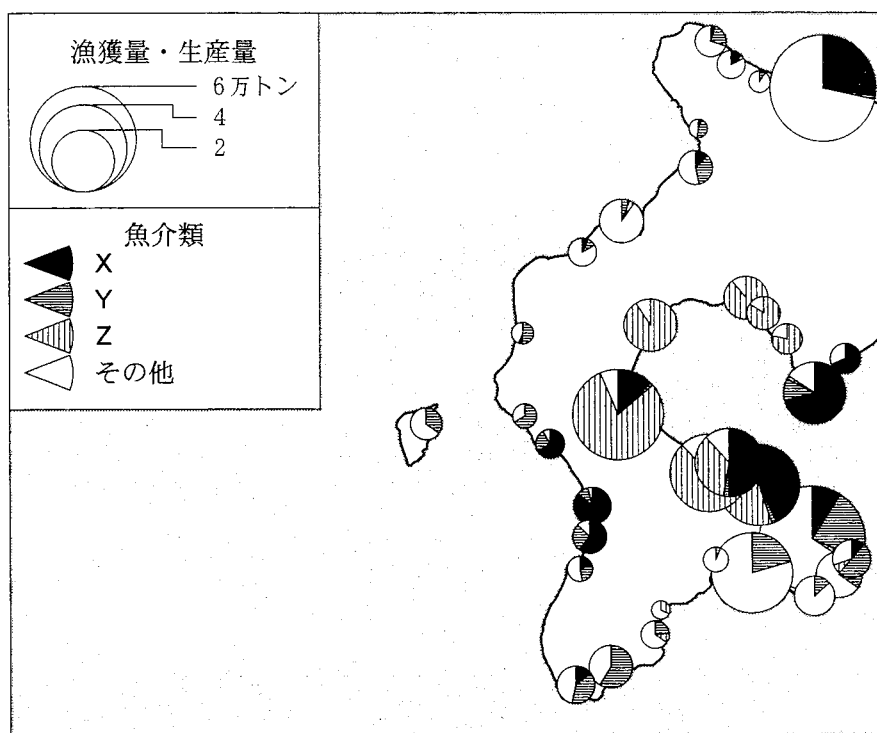
函館市の資料により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	航空機	航空機	船 舶	船 舶	列 車	列 車
Q	船 舶	列 車	航空機	列 車	航空機	船 舶
R	列 車	船 舶	列 車	航空機	船 舶	航空機

地理 B

問 5 リエさんは、函館市の市場で見た水産物について興味をもち、次の図 3 中の沿岸部における市町村の漁獲量・生産量を調べた。その結果、スケトウダラ、スルメイカ、ホタテガイが多いことが分かった。そこで、それぞれの魚介類について市場の店主にたずねてみた。次ページのリエさんと店主との会話を参考に、図 3 中の X～Z と魚介類との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

10



統計年次は 2001 年。

『北海道農林水産年報(水産編)』により作成。

図 3

リエ 「スケトウダラは、どこでとれるのですか」

商店主 「スケトウダラは主に外洋でとれる魚です」

リエ 「スルメイカはどうですか」

商店主 「スルメイカは北海道でも南の方で水揚げが多くなります」

リエ 「ホタテガイについても教えてください」

商店主 「ホタテガイは養殖が中心なので、波の穏やかな内湾が多いです」

	X	Y	Z
①	スケトウダラ	スルメイカ	ホタテガイ
②	スケトウダラ	ホタテガイ	スルメイカ
③	スルメイカ	スケトウダラ	ホタテガイ
④	スルメイカ	ホタテガイ	スケトウダラ
⑤	ホタテガイ	スケトウダラ	スルメイカ
⑥	ホタテガイ	スルメイカ	スケトウダラ

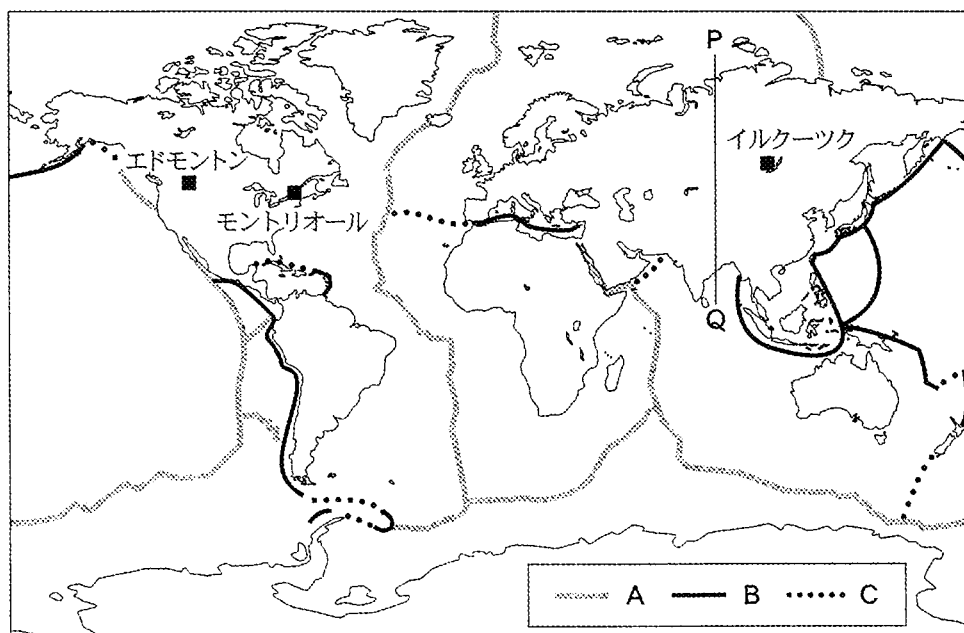
問 6 リエさんは、函館市にはかつてロシア領事館があったことを知った。現在の日本とロシアとの交流について述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 11

- ① 日本とロシアとの間で、姉妹都市の提携を結ぶ自治体が増えている。
- ② 日本とロシアの企業が、共同で最先端の航空機開発を行っている。
- ③ 日本からロシアへ、中古自動車や自動車部品が輸出されている。
- ④ ロシアから日本へ、魚介類や木材、石炭が輸出されている。

地理B

第3問 次の図1を見て、世界の自然環境に関する下の問い(問1～6)に答えよ。

(配点 18)



The Times Concise Atlas of the World などにより作成。

図 1

問1 図1中のA～Cは、特徴の異なる主な海洋底のプレート境界を示したものである。また、次のア～ウの文は、A～Cのいずれかの特徴を述べたものである。A～Cとア～ウとの正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

12

ア 相対するプレートが横にずれる境界であり、場所によっては断層運動による地震が頻発する。

イ 相対するプレートが広がる境界であり、場所によっては割れ目に沿ってマグマの噴出がみられる。

ウ 相対するプレートが狭まる境界であり、場所によっては海溝が形成されている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
B	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
C	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 2 図 1 中の P—Q 間の地形断面図として最も適当なものを、次の図 2 中の①～④のうちから一つ選べ。ただし、海底地形は省略し、水平距離に対して垂直距離は約 250 倍で表現してある。

13

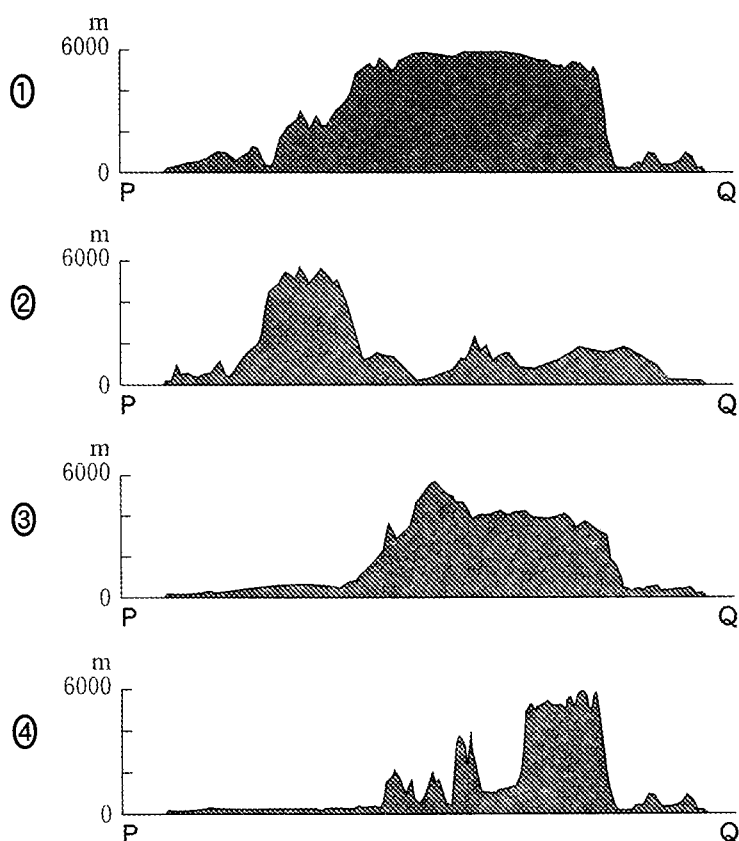
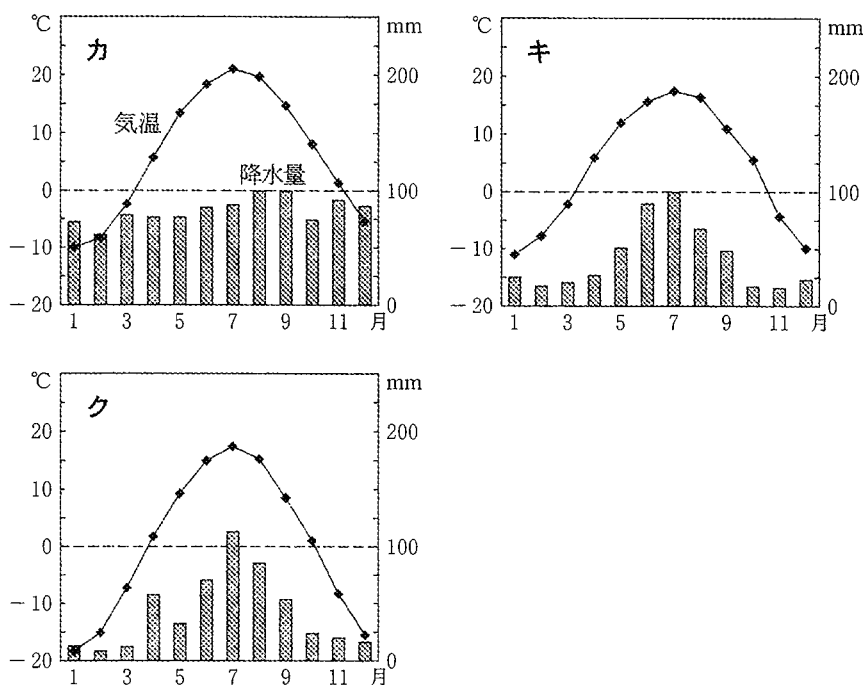


図 2

地理B

問 3 次の図3中のカ〜クは、図1中のイルクーツク、エドモントン、モントリオールのいずれかの都市における月平均気温と月降水量を示したものである。カ〜クと都市名との正しい組合せを、下の①〜⑥のうちから一つ選べ。

14



『理科年表』により作成。

図 3

	カ	キ	ク
①	イルクーツク	エドモントン	モントリオール
②	イルクーツク	モントリオール	エドモントン
③	エドモントン	イルクーツク	モントリオール
④	エドモントン	モントリオール	イルクーツク
⑤	モントリオール	イルクーツク	エドモントン
⑥	モントリオール	エドモントン	イルクーツク

問 4 エルニーニョ現象は、異常気象の要因の一つとされている。エルニーニョ現象にともなって発生する異常気象について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

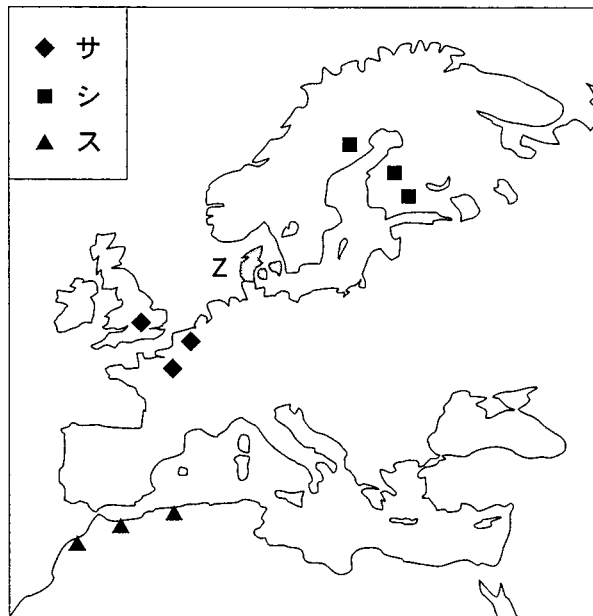
15

- ① インドネシアでは、高温少雨となり、干ばつや森林火災が発生することがある。
- ② オーストラリアでは、少雨となり、干ばつが発生することがある。
- ③ 東アフリカでは、大雨が多発し、洪水が発生することがある。
- ④ ペルーでは、低温少雨となり、干ばつが発生することがある。

地理B

問 5 次の図4中のサ～スは、成帯土壌である褐色森林土、栗色土、ポドゾルのいずれかがみられる地点を示したものである。サ～スと土壌名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

16



Bridges, *World Soils* などにより作成。

図 4

	①	②	③	④	⑤	⑥
褐色森林土	サ	サ	シ	シ	ス	ス
栗色土	シ	ス	サ	ス	サ	シ
ポドゾル	ス	シ	ス	サ	シ	サ

問 6 農牧業は、自然環境の影響を受けることが多い。図4中のZ国*における自然環境と主な農牧業の特徴との関係について説明した文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 17

*図4の範囲外の領土は含まない。

- ① 気候が温和で、土壌が肥沃であるため、穀物やテンサイ、ジャガイモなどの生産が行われている。
- ② 冬は温暖湿潤であるが、夏は高温乾燥であるため、オレンジやコルクガシなどの栽培が行われている。
- ③ 季節的な乾燥や低温などにより、飼料となる草が不足するため、トナカイの遊牧が行われている。
- ④ 日照時間が短く冷涼であり、かつてあった氷河の影響を受けて土地がやせているため、牧草を栽培し、乳牛を飼養する酪農が行われている。

地理B

第4問 資源と産業に関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 18)

問1 主要な1次エネルギーである原油の産出国は偏在している。次の表1は、いくつかの原油産出国から主な先進国への原油輸出量を示したものであり、ア～ウは、アルジェリア、インドネシア、ベネズエラのいずれかである。ア～ウと国名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

18

表 1

(単位：万トン)

輸 出 国	輸 入 国				
	アメリカ合衆国	イギリス	イタリア	日 本	フランス
ア	7,908	113	21	61	14
イ	1,264	110	383	—	585
ウ	158	—	—	823	—

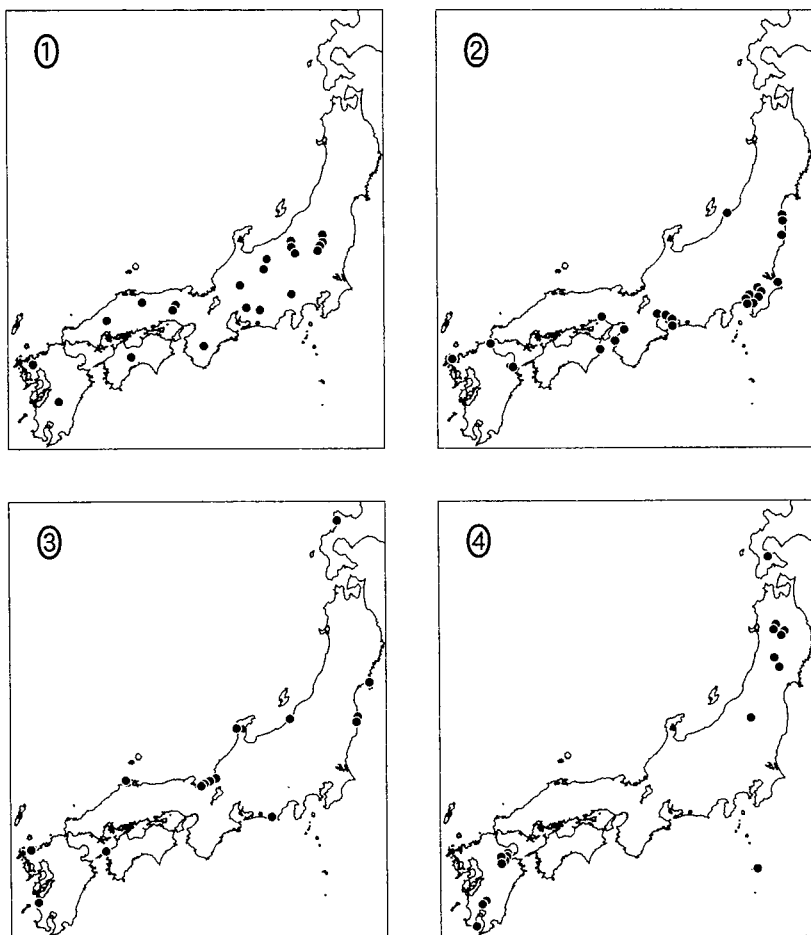
—は記載なし。

統計年次は2003年。『石油資料』により作成。

	ア	イ	ウ
①	アルジェリア	インドネシア	ベネズエラ
②	アルジェリア	ベネズエラ	インドネシア
③	インドネシア	アルジェリア	ベネズエラ
④	インドネシア	ベネズエラ	アルジェリア
⑤	ベネズエラ	アルジェリア	インドネシア
⑥	ベネズエラ	インドネシア	アルジェリア

問 2 電気は 2 次エネルギーの一つであるが、発電方法によっては地球温暖化の要因となる二酸化炭素が大量に発生する。次の図 1 は、日本の主な発電所の分布を示したものであり、①～④は、火力発電所、原子力発電所、水力発電所、地熱発電所のいずれかである。二酸化炭素が最も多く発生するタイプの発電所の分布を示したものを、図 1 中の①～④のうちから一つ選べ。

19



火力発電所は最大出力 200 万 kW 以上、水力発電所は最大出力 50 万 kW 以上のもののみを示す。

統計年次は、火力発電所、原子力発電所、水力発電所が 2003 年、地熱発電所が 2001 年。『電気事業便覧』などにより作成。

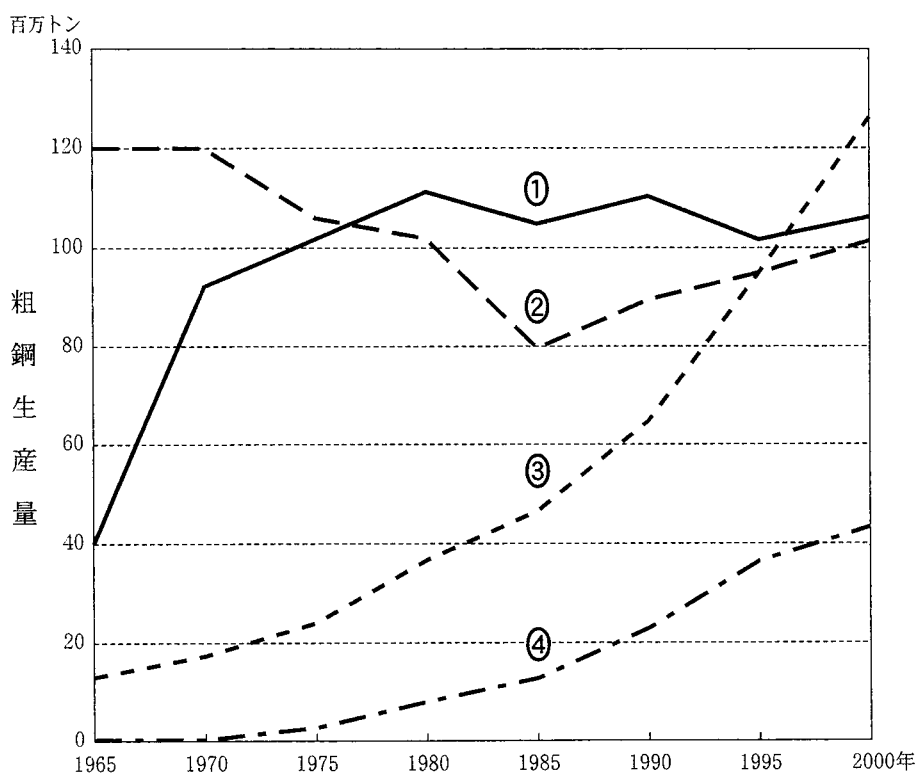
図 1

地理B

問 3 工業製品の主要な基礎素材である鉄鋼の生産地は、世界的な産業再編の影響を受けて変化している。次の図2中の①～④は、アメリカ合衆国、韓国、中国*、日本のいずれかにおける粗鋼の生産量の推移を示したものである。アメリカ合衆国に該当するものを、図2中の①～④のうちから一つ選べ。

20

*台湾を含まない。



『世界国勢図会』により作成。

図 2

問 4 次のカ～クの文章は、最終消費財である衣服、自動車、PC(パーソナルコンピュータ)のいずれかの、世界における生産状況を述べたものである。カ～クと品目との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 21

カ 全世界の生産量の大半をアジアが占めている。中国では、先進国の企業から受託して生産する企業が成長し、先進国の企業の一部を買収したものもある。

キ 高価格製品は、現在でもイタリアやフランスなどの先進国で生産が盛んである。低価格製品は、労働力の安価な発展途上国で生産が増加している。

ク 先進国の巨大な多国籍企業が、世界各地に生産拠点を置いている。インド、中国、ブラジルなどの生産国では、多国籍企業と現地企業との合併企業を中心となって生産している。

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	衣 服	衣 服	自動車	自動車	P C	P C
キ	自動車	P C	衣 服	P C	衣 服	自動車
ク	P C	自動車	P C	衣 服	自動車	衣 服

問 5 近年成長が著しい発展途上国の産業地域について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 22

① インド南部のバンガロールは、ソフトウェア産業の集積地として発展しており、インドのシリコンバレーとよばれている。

② 中国南東部のシェンチェン(深圳)は、同国で最も早く経済特区の指定を受け、多数の外国企業が進出している。

③ フィリピンのマニラ近郊では、輸出加工区が設けられ、付近で産出される原油を用いて石油化学工場が多数立地している。

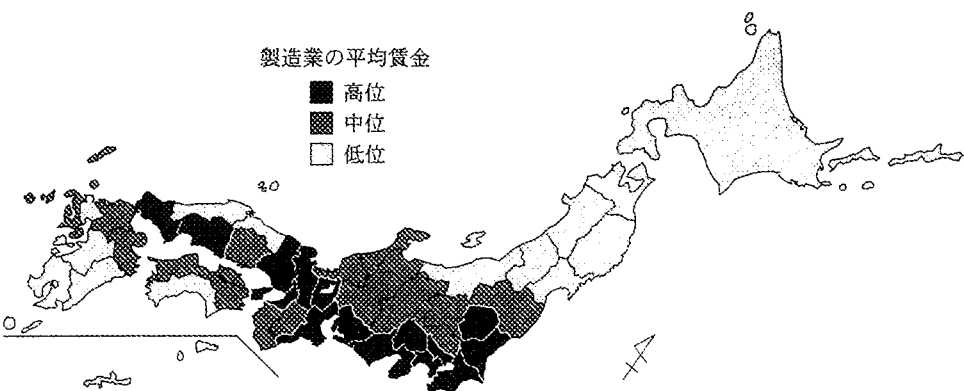
④ マレーシアのクアラルンプール近郊では、情報通信産業を誘致するために、サイバージャヤという計画都市が建設されている。

地理B

問 6 工業の立地は、国内においても多様であり、地域によって業種構成も異なっている。次の図3は、製造業の平均賃金*の高低を指標として、日本における工業の地域差を都道府県別に示したものである。また、下の表2は、製造業従業者数の業種別の割合を示したものであり、サ～スは、平均賃金が高位、平均賃金が中位、平均賃金が低位のいずれかである。サ～スと平均賃金の高低との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

23

*現金給与総額を従業者総数で割った値。



統計年次は 2001 年。工業統計表により作成。

図 3

表 2

(単位：％)

順位	サ		シ		ス	
	業 種	従業者数の業種別割合	業 種	従業者数の業種別割合	業 種	従業者数の業種別割合
1 位	食料品	23.2	電気機械	17.3	電気機械	15.2
2 位	電気機械	18.7	食料品	11.9	一般機械	12.5
3 位	一般機械	7.8	一般機械	11.0	輸送用機械	12.3
4 位	衣服	7.7	金属製品	7.9	食料品	10.6
5 位	金属製品	6.9	輸送用機械	7.5	金属製品	8.2

統計年次は 2001 年。工業統計表により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
平均賃金が高位	サ	サ	シ	シ	ス	ス
平均賃金が中位	シ	ス	サ	ス	サ	シ
平均賃金が低位	ス	シ	ス	サ	シ	サ

地理B

第5問 ラテンアメリカに関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 18)

問1 次のア～ウの文章は、下の図1中のA～Cで示された、南アメリカ大陸のいずれかの河川の流域の特徴について述べたものである。ア～ウとA～Cとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

24

- ア 上流部にはグランチャコとよばれる草原があり、粗放的な牧畜が行われている。下流部のパンパとよばれる草原では、農牧業が盛んである。
- イ 流域の大部分が森林で覆われ、流域面積は世界最大である。本流や主な支流沿いに農産物や鉱産物などの輸出港があり、大型船舶が航行している。
- ウ 流域にはリャノとよばれる草原がある。下流部では牧畜業に加え、鉄鉱石の採掘などが行われている。

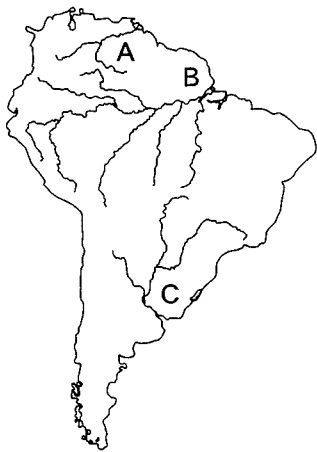
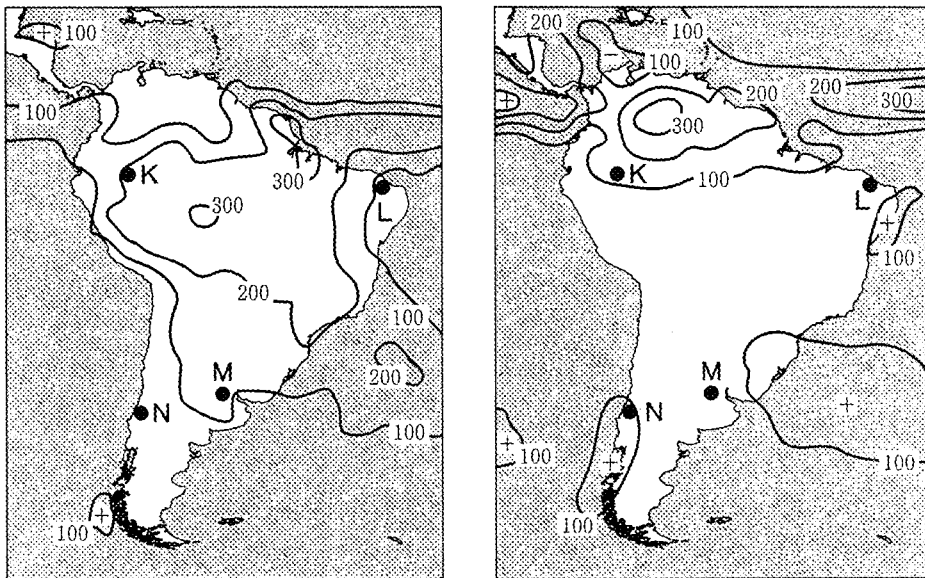


図 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	A	A	B	B	C	C
イ	B	C	A	C	A	B
ウ	C	B	C	A	B	A

問 2 南アメリカの気候は地域によって大きく異なる。次の図2は、南アメリカにおける1月と7月の月降水量の分布を示したものである。図2中の地点K～Nの気候的特徴について述べた文章として、下線部が誤っているものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 25



1 月

7 月

等値線の間隔は 100 mm。

統計年次は 1979～2000 年。NOAA の資料により作成。

図 2

- ① K の月降水量は、1 月に 200 mm 以上、7 月に 100 mm 以上である。ここで 1 年中降水量が多いのは、赤道低圧帯の影響である。
- ② L の月降水量は、1 月も 7 月も 100 mm 未満である。ここで 1 年中降水量が少ないのは、沖合いの寒流と中緯度高圧帯の影響である。
- ③ M の月降水量は、1 月に 100 mm 以上、7 月に 100 mm 未満である。ここで 1 月に降水量が多くなるのは、前線や低気圧の影響である。
- ④ N の月降水量は、1 月に 100 mm 未満、7 月に 100 mm 以上である。ここで 7 月に降水量が多くなるのは、偏西風帯が北上する影響である。

地理B

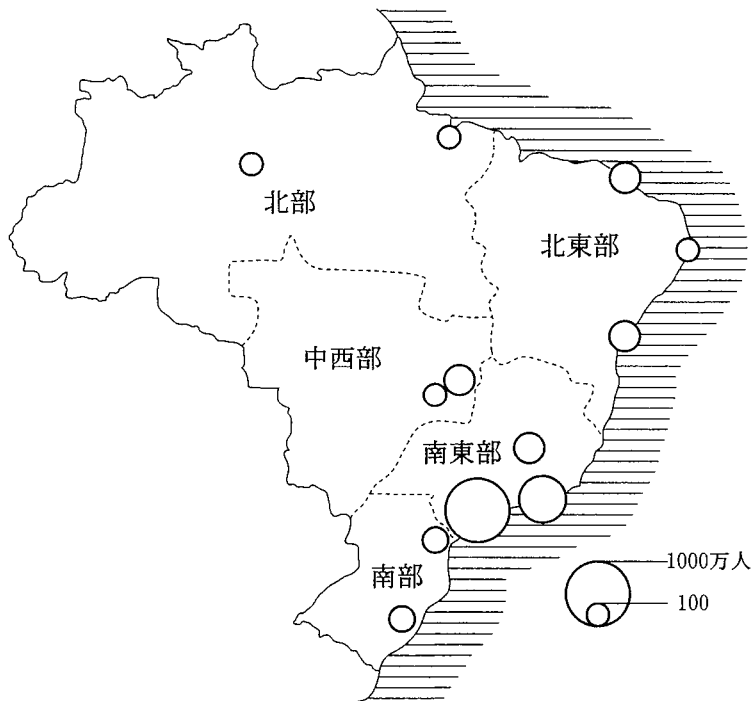
問 3 ラテンアメリカでは、多くの人種が混在する社会が形成されている。次の文章は、ラテンアメリカのいくつかの国や地域における人種構成について説明したものであり、空欄(a)～(c)には、コーカソイド、ネグロイド、モンゴロイドのいずれかが当てはまる。(a)～(c)と人種名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

26

(a)と(b)との間に生まれた人々やその子孫は、西インド諸島のいくつかの国やブラジルにおいて人口に対する割合が高く、ドミニカ共和国では人口の過半数を占めている。一方、(a)と(c)との間に生まれた人々やその子孫は、中央アメリカの多くの国で人口に対する割合が高く、メキシコでは人口の過半数を占めている。

	a	b	c
①	コーカソイド	ネグロイド	モンゴロイド
②	コーカソイド	モンゴロイド	ネグロイド
③	ネグロイド	コーカソイド	モンゴロイド
④	ネグロイド	モンゴロイド	コーカソイド
⑤	モンゴロイド	コーカソイド	ネグロイド
⑥	モンゴロイド	ネグロイド	コーカソイド

問 4 ラテンアメリカでは、人口の分布状況も国によって異なる。次の図 3 は、ブラジルにおける人口 100 万人以上の都市の分布を示したものである。図 3 とこれに関連することがらについて述べた文として誤っているものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 27



統計年次は 2000 年。『世界国勢図会』などにより作成。

図 3

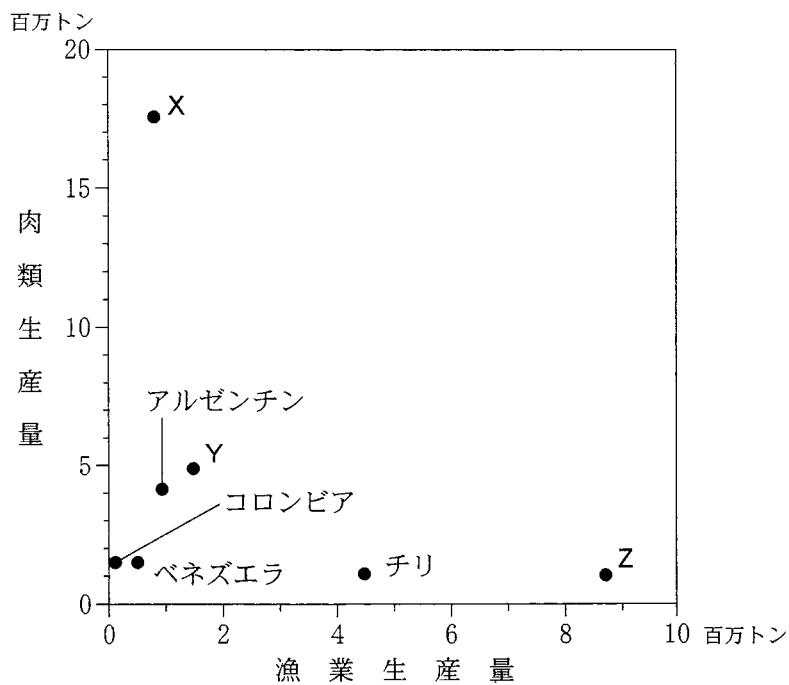
- ① ブラジルの首都は、この国の内陸部開発の拠点として建設された計画都市であり、この国における人口が最大の都市ではない。
- ② ブラジル南東部には、この国の商工業の中心地があり、この地域に人口が国内最大の都市がある。
- ③ ブラジル北部では、大規模な炭鉱が開発され、ブラジル南東部からの計画的な移住が行われたことにより、大都市がみられる。
- ④ ブラジル北東部では、内陸部を中心に干ばつが起こりやすく、農村から流出した人々の居住などにより沿岸部の人口が増加し、大都市がみられる。

地理B

問 5 ラテンアメリカにおける食料生産の特徴は、国によって大きく異なる。次の図4は、ラテンアメリカのいくつかの国における漁業生産量*と肉類生産量を示したものであり、X～Zは、ブラジル、ペルー、メキシコのいずれかである。X～Zと国名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

28

*貝類・海藻類を含み、クジラを除く。外国へ水揚げしたものを含む。養殖業は含まない。



統計年次は 2002 年。

『世界国勢図会』により作成。

図 4

	①	②	③	④	⑤	⑥
X	ブラジル	ブラジル	ペルー	ペルー	メキシコ	メキシコ
Y	ペルー	メキシコ	ブラジル	メキシコ	ブラジル	ペルー
Z	メキシコ	ペルー	メキシコ	ブラジル	ペルー	ブラジル

問 6 ラテンアメリカにおける産業や貿易の特徴も、国によって異なる。ラテンアメリカのいくつかの国における近年の産業や貿易について説明した文章として、下線部が最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① アルゼンチンでは、小麦やトウモロコシ、大豆、牧草などの栽培が盛んである。原油や工業製品とともに、穀物や飼料が主要な輸出品である。
- ② エクアドルでは、バナナの栽培が盛んである。原油や石油製品の輸出も多いが、バナナが総輸出額の第1位を占める。
- ③ チリでは、鉱産資源の生産と輸出が盛んである。魚介類とともに、金が主要な輸出品である。
- ④ メキシコでは、鉱産資源の産出が多く、工業化の進展も著しい。最大の貿易相手国は、ラテンアメリカの新興工業国であるブラジルである。

第 6 問 高校の生徒と先生との次の会話を参考に、現代世界の諸課題に関する下の問い(問 1～6)に答えよ。(配点 18)

生徒 「最近、特に暑い日が続きますね。①地球温暖化や②ヒートアイランドの影響でしょうか」

先生 「それは簡単には断定できません。しかし、人間活動が自然環境に大きな影響を与えていることは間違いないでしょう」

生徒 「人と自然との関係では、③水資源の枯渇や汚染などの問題もありますね」

先生 「こうした地球全体の課題に世界各国が一致して取り組むのは、とても難しいのです。各国がそれぞれに④生活様式の変化に直面していますし、国によって⑤産業構造も異なり、重視されている課題も違いますから」

生徒 「いろいろな国の間で起こる⑥貿易不均衡も解決が難しそうですね」

先生 「世界中の国々にはそれぞれの事情があるにしても、私たちはもっと地球規模で物事を考えていく必要がありますね」

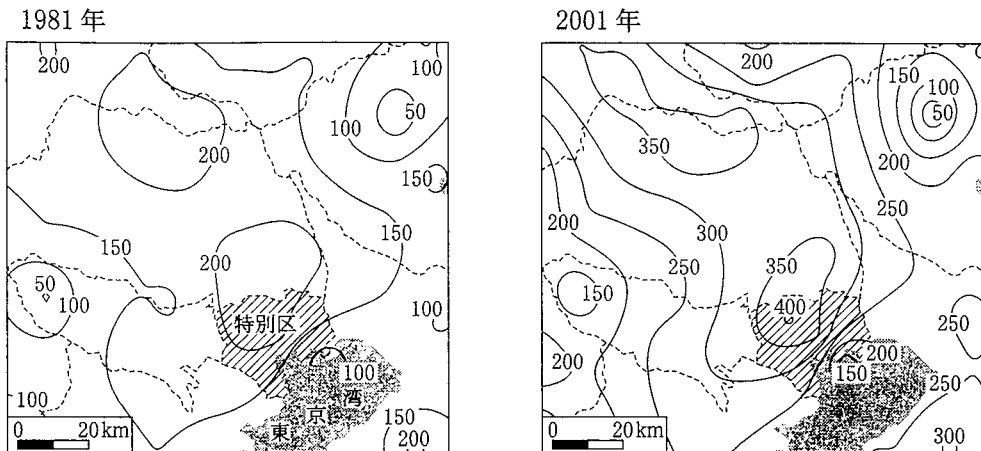
問 1 下線部①に関して、地球温暖化について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

30

- ① 温暖化による海水面の上昇で国土の大部分が水没すると考え、国民の組織的移住に取り組みはじめた国がある。
- ② 温暖化による海水温の上昇にともなって、低緯度海域で蒸発量が増え、海洋全域において塩分濃度が上昇している。
- ③ 温暖化にともなって降水量の変動が生じ、干ばつや洪水などが発生するばかりでなく、地震や火山活動も活発になってきている。
- ④ 温暖化によって熱帯雨林が急速に拡大し、硬葉樹林の一部において熱帯雨林への移行がみられるようになった。

問 2 下線部①に関して、次の図 1 は、東京を中心とした地域における、1981 年と 2001 年の 30℃ を超える気温が記録された総時間数の分布を示したものである。図 1 を説明した文として 適当でないもの を、下の①～④のうちから一つ選べ。

31



気象庁の資料により作成。

図 1

- ① 都市域の拡大で上昇気流が強まり、夏季の日中に山地から都市域へ吹く高温で乾いた風が生じやすくなり、関東平野の北部に高温の地域が広がった。
- ② 特別区の北部では、建物や舗装道路などからの放熱に加えて、海風によって都心部の熱が運ばれるため、30℃ を超える時間が長くなっている。
- ③ 西部や北東部では、標高が高く、田畑や森林の占める割合が大きいことから、特別区とその周辺地域に比べて 30℃ を超える時間が短い。
- ④ 東京湾沿岸地域では、海風の影響により 30℃ を超える時間は特別区の北部周辺地域より短い、ここでも気温の上昇傾向がみられる。

地理 B

問 3 下線部㉔に関して、世界では地下水資源を大量に利用してきた結果、様々な問題が起こっている。こうした問題について説明した文章として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 32

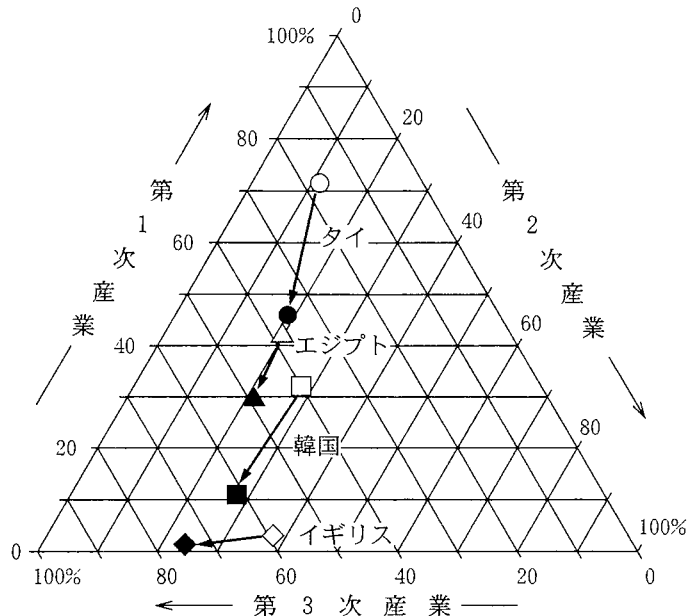
- ① アメリカ合衆国のグレートプレーンズでは、農業用水として地下水が大量に揚水された。その結果、大規模な地下水の枯渇が問題視されている。
- ② インドのパンジャブ地方では、地下水を大量に利用して灌漑^{かんがい}が行われた。その結果、土壌が塩性化し、農地に被害が出た。
- ③ オーストラリアのグレートアーテジアン^{だいさんせい}（大鑽井）盆地では、灌漑農業が大規模に行われた。その結果、肥料により深刻な地下水汚染が生じている。
- ④ 日本では、東京など、沖積平野にある大都市域で、工業用水として大量に地下水が揚水された。その結果、地下水位が低下し、地盤沈下が生じた。

問 4 下線部㉕に関して、世界のいくつかの国における現代の課題や生活様式の変化について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① イギリスでは、高齢者が急激に増加したが、年金制度の充実や住宅のバリアフリー化はほとんど進んでいない。
- ② ドイツでは、自動車部品のリサイクルを推進するほか、市内への自動車の乗り入れ制限をする都市もある。
- ③ リベリアでは、砂漠の拡大で多くの農地が失われたが、伝統的な生活様式をいかした砂漠化対策が進んでいる。
- ④ ロシアでは、東部を中心に多くの少数民族が住んでいるが、市場経済導入後、伝統的な暮らし方はみられなくなった。

問 5 下線部㊸に関して、次の図 2 は、イギリス、エジプト、韓国、タイの最近約 20 年間ににおける産業別人口構成の変化を示したものである。図 2 の内容およびそれにかかわる諸課題について述べた文として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

34



統計年次は、イギリスが 1980 年と 2002 年、エジプトが 1980 年と 2000 年、韓国が 1982 年と 2000 年、タイが 1980 年と 2001 年。
『世界国勢図会』により作成。

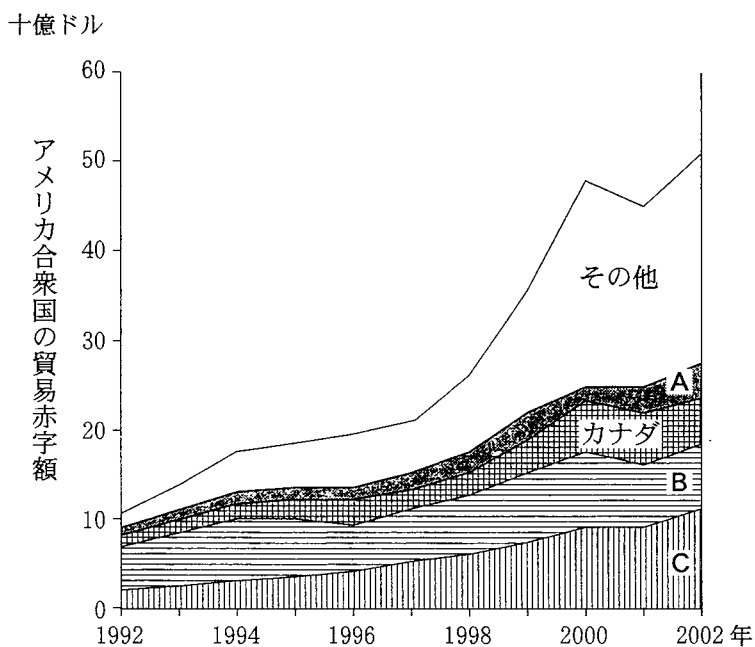
図 2

- ① タイでは、工業化の成功で農業を離れて製造業に移る人々が増え、農業従業者の比率が急減し、農村の過疎化が米の生産に深刻な影響を及ぼした。
- ② エジプトでは、工業化の進行で製造業従業者の比率が高まったが、商業やサービス業の従業者の比率はほとんど変わらなかった。
- ③ 韓国では、セマウル運動の結果、農業従業者の比率はほとんど変わらなかったが、経済のサービス化が進行して、製造業従業者の比率が減った。
- ④ イギリスでは、製造業の衰退から失業者が多かったが、商業やサービス業の雇用が増え、製造業従業者の比率が減った。

地理 B

問 6 下線部①に関して、アメリカ合衆国は多額の貿易赤字をかかえている。次の図 3 は、アメリカ合衆国の貿易赤字額の推移を、主要な相手国別に示したものであり、A～Cは、中国^{*}、ドイツ、日本のいずれかである。A～Cと国名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 35

^{*}台湾、ホンコン、マカオは含まない。



『国際連合貿易統計年鑑』により作成。

図 3

	A	B	C
①	中 国	ドイツ	日 本
②	中 国	日 本	ドイツ
③	ドイツ	中 国	日 本
④	ドイツ	日 本	中 国
⑤	日 本	中 国	ドイツ
⑥	日 本	ドイツ	中 国